

皆さんの声をまちづくりに活かす

ハートフル対話2011を開催



ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解とご関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに活かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

10月11日～11月7日にかけては、計9回・18地区を対象に開催しました。

今月号では、先月号に続き、対話の中でいただいたご質問・ご意見とそれに対する回答の一部を紹介합니다。

開催日	対象地区
10月11日	太田・北田
10月18日	坂尻・山上
10月20日	日向
10月21日	松原
10月24日	久々子・矢筈
10月27日	早瀬・笹田
11月 1日	気山・大藪
11月 2日	金山・久保
11月 7日	和田・木野 佐柿・小倉

健診について

問 町の健診は待ち時間が長くなり、不便を感じています。また、受診率を上げるために、健診費用の無料化を行うてはどうかでしょうか。

答 町の健診は、はあとびあや東部診療所だけでなく、各集落に出向いても実施しています。

乳がんや胃がん検診では、待ち時間が長くなり、ご不便をおかけしていると聞いています。各会場で申し込みが多い場合は、検診車を複数手配したり、どうしても多くの申し込みで対応が難しい場合は、他の健診日をお知らせする等しています。

今後は、1年を通じて、各健診日の申込状況を行政チャネルやホームページ等でお知らせできるようにしたいと思います。

また、健診費用の無料化については、今年度、子宮頸がん検診は20歳～40歳まで5歳ごとに、乳がん・大腸がん検診は40歳～60歳まで5歳ごとに無料にしており、75歳以上の方については、すべての検診が無料となっています。

県内市町の一部では、がん検診費用の無料化を実施しており、今後は、このような事例も参考にしながら、健診率アップに繋がる施策を考えていきます。

問 私は夫の社会保険の被扶養者で、町の健診会場において特定健診を受けました。その際、国保加入者の方は、心電図検査及び眼底検査も基本検査項目に入っていました。私たちのような社保の被扶養者の特定健診では、その検査は入っていません。町の健診会場で、国保加入者と同様に心電図検査や眼底検査を受けることはできないのでしょうか。

答 特定健診は、それぞれの医療保険者が行うことになっています。そのため、特定健診の検査項目は、加入の健康保険によって異なります。

加入の健康保険によっては、町の健診会場で特定健診を受け、心電図検査や眼底検査も別途費用がかかります。追加で受けることができる場合もあります。

特定健診の検査項目や受診場所については、加入の健康保険の保険者または事業所にお問い合わせください。

移動スーパーについて

問 美浜町では、車がないと買い物の際に不便です。移動スーパーや宅配スーパーを検討し、高齢者や障がい者が安心して買い物できる環境を整備していただけないでしょうか。

答 移動スーパー、宅配スーパーのような行政サービスは、町では行っ

ていません。

ただ、敦賀市の県民生活協同組合（ハーツ）が移動式店舗「ハーツ便」のサービスを行っています。サービスの提供には、駐車場の確保や利用人数等の条件があるようですので、詳しくはハーツ敦賀（☎20・008）までお問い合わせください。

その他に、㈱ヨシケイ福井では、夕食食材宅配サービス等を行っているようですので、こちらもお問い合わせください（☎0120・35・0200）。

ご要望については、町単独でできることではなく、民間事業者の協力が必要で、担当課から、商工会に提案・話し合いを行っているところです。

都市計画マスタープランについて

問 美浜町都市計画マスタープランを読んだのですが、内容に分かりづらいつところがありました。説明会を開いていただけないでしょうか。

答 美浜町都市計画マスタープランは、今年の9月に策定し、10月にその概要版を各戸配布させていただきました。

この計画は、都市の将来像や土地利用、交通体系といった、まちづくりに関する各分野の基本方向を明らかにし、地域と行政が協働で進める

地域ごとのまちづくりの方針を定めたいものです。

説明会については、ご要望いただければ、担当課が出向いて行いたいと考えています。

詳しくは、町土木建築課（☎32・6707）までご連絡ください。

自主防災組織について

問 近年の気候変動による雨量増加とそれが引き起こす災害を心配しています。台風等で起こり得る大災害を未然に防ぎ、町民の人命と財産を守るためにも、各集落あるいは広域的な防災組織の必要性を訴えます。

答 町では、今年度から総務課内に防災安全室を設置するとともに、土木建築課や消防署職員、町民への広報を担当する企画政策課職員とで防災グループを構成し、組織的に防災活動を行えるよう体制の強化を図っています。

しかし、町全体の防災活動や、災害時における被災者の救出活動等は、行政や消防機関だけでは限界があり、多くの町民の方の協力を必要とします。特に、地域内の危険箇所や要援護者の把握については、町では把握しきれない部分があります。が、地区内であれば把握もしやすく、災害時に早期の対応が可能であ

ると思われます。

このため、平成22年度から区長会等において早急に自主防災組織を結成していただくよう各地区に要請し、地元説明会を現在まで16地区を対象に実施しました。現在そのほとんどの地区で組織の設置に向けた取り組みが行われており、町としても組織作りのポイントや規約の作成等について指導を実施しているところです。

また、今年度は、組織の設立に対する助成や資機材の購入費に対する助成も行うとともに、普及活動を拡大強化し自主防災組織設立の推進を図っておりますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。



↑自主防災組織を設立した郷市区のレクリエーション大会では、応急担架を使った救護訓練等が行われた(5月29日)

介護施設について

問 高齢化が進むと、介護が必要な高齢者が増えていくと予想されます。しかし、町には介護施設が少ないと思うのですが……。

答 現在、町の介護施設は、金山に特別養護老人ホーム「湖岳の郷」が、佐田にはデイサービスセンター「ほほえみ」があります。また、佐柿と郷市と山上には、それぞれ小規模多機能型居宅介護事業所である「吉右工門さん家」、「でんでんむしの家」、「弥右工門さん家」があり、早瀬にはグループホーム「湖岳の郷」があります。

これに加え、現在、(社)福井ゆうあい会が、国・県・町の補助を受け、金山地係に地域密着型小規模特別養護老人ホームを、平成24年4月の開設に向け建設中です。

同施設は完成すると、29人が入所でき、10人のショートステイが可能となっておりますので、入所待機者の解消に繋がると考えています。

町内の水洗化率について

問 町内の水洗化率(下水道接続率)を教えてください。また、下水道への接続は、条例で義務づけられているにも関わらず、一部の人は接続していないと聞きます。接続を促進する

ために、どのような啓発活動を行っているのでしょうか。

答 9月現在、町内の水洗化率は、78.3%となっております。

未接続家庭へ対しては、町広報紙での周知(年4回)や、9月10日の下水道の日に街頭で啓発チラシを配布する等して、啓発活動を行っています。また、日常業務の中で未接続の方とお会いする際に、接続のお願いをしています。

平成20年度に、未接続家庭を対象にアンケート調査を実施したところ、未接続の理由は、①下水道接続にかかる工事費が高いため、②高齢者だけの世帯のため、③家屋が老朽化しているため、④下水道使用料が高いためとの順でした。

今後は、下水道の整備が完了したところから、個別に接続のお願いに回り、未接続家庭のご理解とご協力が得られるよう、一層の啓発活動に取り組んでいきます。



↑下水道の日に、街頭で啓発活動を行う町上下水道課の職員

脱原発について

問 福島第一原子力発電所の事故で、原子力発電所の「安全神話」は崩れ去ったと思います。住民の命と安全を守るために、脱原発の方向へ進んでください。

答 福島第一原子力発電所と美浜発電所では原子炉の型が違い、福島は沸騰水型軽水炉(BWR)、美浜は加圧水型軽水炉(PWR)となっております。

PWRでは、たとえ福島第一原子力発電所事故のように電源が断たれても、蒸気発生器へ水を送ることさえできれば、停止後も燃料から発生する熱を蒸気として外部へ放出することで、原子炉を冷却することができます。また、原子炉格納容器的容量が大きいため、水素が発生しても水素爆発によって格納容器が破損する可能性は低く、福島第一原子力発電所の事故が、そのまま美浜発電所にも当てはまる訳ではないと考えています。

町では、国に対して、福島第一原子力発電所事故の徹底した原因究明と、予測・予知できない想定外の事態も考慮した安全対策を講じるよう要望しました。

また、美浜発電所では、福島の事故を踏まえて、原子炉の冷温停止を迅速に行うための非常用発電機代替設備を高所に設置したり、津波対策

として陸上に防潮堤を設置する等、更なる安全確保に向けた取り組みと訓練等を行っています。

私としては、福島の事故以後も、原子力は重要であると考えています。世界に目を向けると、近年発展が目覚ましい中国やインドでは、今後大量の電力を必要としています。その大部分は、火力発電で賄うしていますが、原子力発電も積極的に導入する計画は変更していません。

環境問題に配慮すると、火力発電の割合は減らしていく必要があります。同時にCO₂を排出しない原子力発電は、今後も重要であると考えています。

また、国は、原子力発電の輸出を進めており、発電所の輸出には技術が必要で、そのため、技術者(人材)を欠かすことができず、その育成のためにも、原子力の研究・開発を継続していく必要があると考えています。



↑9月に美浜発電所に配備された非常用発電機代替設備(空冷式非常用発電機)



関西電子ビーム株式会社の竣工式が行われました

■お問い合わせ先
町企画政策課(担当・村上)
☎32-6701



↑竣工式で祝辞を述べる山口町長

10月29日に、関西電子ビーム株式会社の電子線照射施設竣工式が行われました。
福井県では、地域と原子力の自立的な連携を目指し、平成17年3月に「エネルギー研究開発拠点化計画」を策定しており、同計画では、大学や企業と連携した研究開発の推進を重点事項にあげています。関西電子ビーム(株)は、この計画の一環として、(町が整備した産業団地(松原地区)に誘致した企業です。
関西電子ビーム(株)は、電子線の照射により医療機器や食品容器、衛生用品等の滅菌処理及び半導体・プラスチック・繊維等の材料改質(強度・耐熱性の向上等)を業務とする会社で、施設の敷地面積は約9,000㎡、建築面積は約4,100㎡と

なっています。また、主要設備の電子線照射装置は、商業用としては国内最大級の10メガエレクトロンボルトの加速電圧を持ち、透過性能が高く均一的な照射が可能となっています。
同社は、平成22年8月の電子線照射施設建屋の完成とともに本店を当町に移転。本年3月からは、町内から4人の正規社員を雇用しています。
竣工式では、山口町長をはじめ来賓各位がテープカットを行い、高杉代表取締役社長による設備起動が行われました。
町では、今後、同社が県内外の企業・研究機関と連携を図り、発展することによって、町のさらなる雇用の拡大と活性化につながることを期待しています。



↑関西電子ビーム株式会社(松原1-3-3)

▶ 第23回「東京美浜会」総会が開催されました

10月15日に、東京都内で東京美浜会の第23回総会並びに懇親会が開催されました。この会は、美浜町出身の首都圏にお住まいの方で構成される会で、現在の会員数は112人となっています。

総会では、役員改選が行われ、川瀬会長(早瀬出身)が名誉会長に、新会長には田中健さん(松原出身)、新副会長には井上克さん(菅浜出身)が選任されました。

総会後の懇親会では、山口町長と北村議長が町の現状を報告。山口町長は、原子力発電所の現状や、早瀬の瑞林寺を舞台とした小説「サクサク」の映画化に向けて原作者のさだまさしさんと面談したこと等について話しました。また、成世昌平さんの「あんたの里」という唄がBGMで紹介され、同曲には「ふるさと若狭の地酒とへしこ」というフレーズがあるため、歓談も弾みました。

東京美浜会では、首都圏にお住まいで美浜町に縁のある方を対象に会員を募集しております。ご入会希望の方がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

※ご連絡先 東京美浜会 宮下 巍夫 氏 ☎047-351-8505 / 町企画政策課(担当・村上) ☎32-6701



東京美浜会 新会長
田中 健 氏

この度、皆様のご推挙により会長に就任致しました松原出身の田中です。私たちには、「美浜町」という素晴らしい心の「ふるさと」があり、私はその故郷からの変わらぬご厚意に常々感謝しています。

今後私は、新会長として故郷に縁のある本会会員相互の絆とその人の輪を更に広げ、親睦交流を深めて会の発展に努めますので、長年、会の発展に尽力されてこられた川瀬前会長同様、何分皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

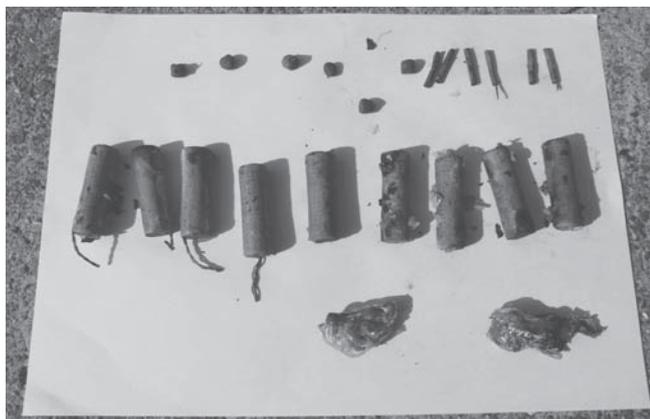
再
確
認
!!

ごみの出し方に注意ください

10

月21日、町内で可燃ごみを収集中の収集車に車輛火災が発生し、消防車が出動しました。原因は、収集したごみに花火類が含まれており、それが発火したことによるものです。

今回の火災は、幸いにも、作業員の発見が早かったため大事には至りませんでした。一歩間違えば車輛の損傷、人命にまで危険が及びかね



↑発火の原因と思われる花火類

ない状況でした。

家庭から出されるごみの中には、適正な処理を行わないと、収集・処分時に周囲に危険を及ぼす可能性を秘めたものがたくさんあります。

今月号では、適正な処理を行わなかった場合、周囲に危険を及ぼす可能性があるごみの出し方についてお知らせしますので、今一度ご確認ください。これから年末にかけての大掃除等の際には、適切なごみの排出に努めていただきますようお願いいたします。

① スプレー缶



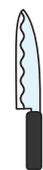
缶が破裂し、中に残ったガスが引火する場合があります。必ず缶に穴を開けて、中身を空にして出してください。

② ガスライター



破損により中のガスが漏れて引火する場合があります。必ず中のガスを使い切ってから出してください。

③ 刃物・釘等



刃物や釘等の鋭利なものは、袋を破きケガをする場合があります。必ず紙に包む等して出してください。

④ ガラス・陶器類



刃物類と同様に紙等に包み、袋に入れて出してください。

⑤ 花火・火薬類



可能な限り使い切ってください。やむを得ず未使用のまま出される場合は、数日間水につけておく等の処理をしてください。

なお、使用済のものについても、必ず水につけてから出してください。

▼今回紹介したものの以外に、出し方や処分方法が分からないものがありましたら、町住民環境課までお問い合わせください。



※お問い合わせ先

町住民環境課(担当・田村)

☎ 32-6703

町役場・美浜町社会福祉協議会でのペットボトルキャップの受入終了について

町役場と美浜町社会福祉協議会では、ごみの減量化及びポリオワクチンの購入助成を目的に、町内の個人・団体・事業所から持ち込まれたペットボトルキャップを、県内の指定機関に持ち込む活動を行ってまいりました。これまでの活動で、ペットボトルキャップ約30万個(ポリオワクチン約375人分)を提供することができ、ごみ減量化への意識啓発及びポリオワクチンの購入助成に、一定の成果を上げることができました。

つきましては、町役場と美浜町社会福祉協議会でのペットボトルキャップの受入は、平成24年3月31日をもって終了させていただきます。今後ペットボトルキャップは、直接指定機関へ持ち込んでいただきますようお願いいたします。

[指定機関：アルパレット株式会社(坂井市丸岡町小黑68-12)]



美浜発電所の状況



今回の報告では、10月18日から11月17日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

第174回町原子力環境安全監視委員会を開催

11月9日に、町役場で第174回町原子力環境安全監視委員会を開催しました。

今回の委員会では、関西電力(株)が10月28日に国へ提出した大飯3号機のストレステスト(※1)の一次評価の内容、また、県内3事業者が合同で調査する若狭湾岸における津波堆積物調査等について説明を求めました。

関西電力(株)から説明を受けた委員からは、

問1 ストレステストは、コンピュータによるシミュレーションであり、耐震データでは入力ミスもあったと聞いている。美浜発電所の3基は高齢化しており、データの信頼性や保証はどのようになっているか。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。

問2 以前、この委員会で「過去に若狭でも津波があったのではないか」と質問をしたところ、関西電力は「絶対ない」と言っていた。県原子力安全専門委員会で言われたから調査をするというのでは、おかしいのではないか。

問3 久々子湖で津波堆積物調査をしているが、津波痕跡の有無のほかには地

殻変動のデータも調査できるのか。

等の意見が出されました。

これらの意見を受け、関西電力(株)は、

答1 ストレステストの根本になるのは、原子炉設置許可や工事認可申請等の設計基準データであり、メーカーの協力を得ながら評価した。また、実際の加振試験のデータも考慮して評価している。

今後のスケジュールは、初めに「有識者による意見聴取会」、次に「国際原子力機関(IAEA)の評価」、そして、最終的には「政治判断」となる。

答2 当社は、日本被害津波総覧や日本被害地震総覧をもとに、若狭湾に考慮すべき大きな津波はないと判断していたが、県の委員等からのご意見を真摯に受け止め、過去の津波の痕跡情報を蓄積するため実施することとした。

答3 今回の調査は津波の痕跡有無の調査を主眼としており、地殻変動の調査は目的としていない。地層を調べる中で判明することも考えられるが、今回は津波の痕跡有無が目的である。

と説明しました。

その後、委員会では、福島第一発電所事故に伴う放射性物質の影響についての理解を深めるため、本委員

会の専門委員である城戸勝利委員(財)海洋生物環境研究所・顧問)から放射性物質の海洋への拡散と魚類等への影響、また、山本政儀委員(金沢大学教授)からは、放射能・放射線問題についての話を伺いました。

本委員会では、今後も福島第一発電所事故状況を注視し、得られた知見が美浜発電所において適切に反映されるかを確認していきます。

(※1)ストレステスト

原子力発電所の安全性をシミュレーションにより確認するもので、地震や津波の規模を段階的に大きくしていった際、原子力発電所の設備や機能にどのレベルでどんな影響が出るかを評価するもの。



↑美浜発電所の現況を説明する片岡所長

美浜1号機

第25回定期検査中

(平成22年11月24日)

美浜2号機

定格熱出力一定運転中

(平成22年11月19日)

美浜3号機

第25回定期検査中

(平成23年5月14日)